

顎顔面外科学

Maxillofacial Surgery

教授	原田 清
講師	山口 聰、鶴澤 成一
助教授	佐藤 豊、儀武 啓幸、道 泰之、黒原 一人、中久木 康一、大山 巖雄
医員	園田 格、名生 邦彦、友松 伸允、道川 千絵子、稲葉 好則、三浦 千佳 (1月～4月) 鈴木 (水谷) 美保、中地 浩之、炭野 淳、大上 えりか (1月～9月) 高橋 謙一郎、(4月～) 前田 慶子、倉沢 泰浩、遠藤 寛則、佐野 祐美
大学院	山田 知里、李 慧 (中国、私費留学生)、土田 絵梨、中村 亮介、 山田 峻之、森田 琢磨、加地 博一、奥山 紘平、吉田 千紘 岡村 武志、和気 創、近藤 雄太、寺内 正彦、エンヒュボルド ウヤング (モンゴル 留学生) 星 礼子、勝村 早恵、金丸 智紀、西原 駿 (4月～) 外内 えり奈、稲田 大佳輔
大学院 研究生	(4月～) 豊田 大和、野里女 明代、露崎 亜美、柴田 真理、押部 成美
名誉教授	天笠 光雄
臨床教授	山城 正司
非常勤講師	長谷 川和樹、宮岡 等、和気 裕之、山田 隆文、佐藤 文明、宮地 秀雄、石井 純一 藤井 英治、小林 淳二、小林 明子、新中 康史、渡部 隆夫、鈴木 鉄夫、山根 正之 三島 木節、阿部 成宏、(1月～4月) 岩城博、(4月～) 大上 えりか

(1) 研究活動

当分野では多岐にわたる顎顔面口腔領域の疾患に対し、以下のテーマを中心に研究を行っている。

1) 顎変形症：術後の安定性と手術術式の改良を目的とした研究を行っている。特に、口内法における術式の改良、術後の下顎頭の安定性、後戻り、下顎運動、皮膚感覚、安全な上顎骨後方挙上等について検討している。三次元超音波振動切削機 (ピエゾサージェリー®、ソノベット®) を導入し、神経血管・骨膜損傷を抑える骨切り等を行っている。また骨接合の際に用いる吸収性プレートの力学的強度の研究を企業との産学連携研究として行っている。口唇口蓋裂患者の重度の上顎発育不全に対して創内延長装置である Zurich maxillary distractor や RED system を用いた上顎全体の骨延長の適応や術後の安定性に関して検討している。自己血貯血の実態調査、外科手術前後の栄養調査、意識調査・口腔衛生に対する評価を行い、実際の臨床に反映させている。下顎枝矢状分割術における下顎頭位置決め方法についても改良を進めている。

また、クリニカルパスを導入して安全、確実な入院加療、術後入院期間の短縮を実現して患者に優しい医療を目指している。

2) 口腔悪性腫瘍：超音波、CT、MRI、PET 等の画像を用いた診断や腫瘍進展範囲の検索の精度を向上させるための研究を引き続き行っている。超音波診断においては、カラードプラ超音波診断器を導入し、病変の血流の有無、方向、流速、性状など、腫瘍の質的診断の研究を行っている。口腔癌の組織型、発生部位別の治療成績の検討から、予後不良因子を抽出し、常に治癒率の向上を目指している。また、重複癌に関する臨床的研究、若年者・高齢者における口腔癌患者の動向に関する臨床的研究、遠隔転移様相に関する臨床的研究、口腔癌切除後の創被覆法、切除法の工夫に関する研究を行っている。さらに、術後治療の標準化、新規抗がん剤治療による治療成績についての研究を行い、治療成績の向上に寄与する研究を行っている。口腔再建手術後の咀嚼、嚥下、構音などの口腔機能の評価法に関する研究も進めており、術後 QOL を向上させる再建法について検討を行っている。術後の摂食・嚥下障害が予想される患者に対しては、摂食リハビリ外来や病棟スタッフとの連携のもとで、術前より摂食・嚥下機能評価を行っている。特に腫瘍切除後に組織移植により再建術を行う患者に対しては、クリニカルパスを作成し、早期のリハビリ開始や、術後入院期間の縮小がはかられている。また、言語機能評価は言語治療外来にて行っているが、切除範囲や術式ごとの検討を行うことにより、機能温存を重視した術式の開発に取り組んでいる。

3) 口唇口蓋裂：口唇口蓋裂患者の初回手術前より口蓋床を用い、術前顎発育誘導による歯列弓形態の経時的な変

化について解析を行っている。口唇形成や口唇修正においては、積極的に人中形成を含めた自然な三次元的形態回復を行っている。顔面の形態評価については2次元解析を行っている。口蓋形成では、言語機能や顎発育の両面を考慮したよりよい術式を選択し、成長期における咬合状態と言語機能について評価を行い、咬合や言語に与える因子の解析を行っている。顎裂部への二次的骨移植については、単純X線写真やCTを用い骨形態や歯列弓形態についての評価を行っている。また、鼻咽腔閉鎖機能不全に対してまずは発音補助装置を用い改善を図り、必要に応じて咽頭弁移植術を行い、鼻咽腔閉鎖機能の獲得を行っている。重度の上顎劣成長に対しては、骨延長を適応し咬合改善を行い、術後の後もどりや長期術後安定性について検討を行っている。治療終了期の患者の総合評価を行い、治療プロトコルの問題点や改善点について検討している。研究面では、研究書承諾書を頂いた患者さんから手術中に生じた患者さんの血液、組織を用いて口唇・口蓋裂の発生に関わる遺伝子解析を本学分子発生学分野と共同研究を行っている。

4) 顎関節疾患：口腔疾患と心因的な関連について、顎関節症患者を含む当科外来患者を対象として必要に応じて心理要因の調査を実施し、疼痛と不安・抑うつとの関連性を解析し、治療法を検討している。また顎関節に発生する腫瘍性病変についての外科治療を行うとともに発症原因や病態解明についての検索を行っている。従来からある開口訓練器の改良を行うと共に新しい型式の開口訓練器と開口度測定器の新規開発、それらの実用化と臨床応用に向けての研究開発を進めている。

5) 口腔再建：舌、口底、頬粘膜などの軟組織再建は、主に、前腕皮弁や腹直筋皮弁などの遊離皮弁移植を用いて行っている。顎骨などの硬組織再建は、遊離肩甲骨複合皮弁などの血管柄付き骨移植、骨髓海綿骨細片(PCBM)などによる再建を行っている。顎義歯、インプラント義歯など用いた咬合再建を最終目標とする取り組みと、咀嚼機能、QOL評価を通じて、より安全で機能的な口腔再建法の確立と機能評価・術式の標準化へ向けた研究を行っている。

6) 口腔粘膜疾患：白板症、扁平苔癬などの口腔粘膜疾患に対する治療のために専門外来を設置している。また粘膜疾患の病態に対する原因の調査を、全身疾患、局所、心因性のものにわたって行い、治療には一部東洋医学も導入している。

7) 歯および骨の再生に関する研究：歯髄細胞を細胞供給元とした再生医療の研究を進めている。これまでにヒト歯髄細胞は無血清培地にて培養した場合には象牙質を形成することが見いだされた。歯の再生には上皮系細胞と間葉系細胞が必要と思われる。上皮系細胞としてヒト口腔粘膜上皮細胞、間葉系細胞としてヒト歯髄細胞に着目し歯の再生研究を行っている。最近になり手術時に生じる余剰骨組織よりヒト骨髓間葉系幹細胞の培養にも成功しており、再生医療への応用研究を展開していきたいと考えている。

8) 口腔癌に対する基礎的研究：口腔癌検体より、レーザーマイクロダイセクションを用いて、それぞれの検体から正常部、上皮性異形成部、癌部を採取し、マイクロアレイ解析を行うことにより口腔癌の発癌過程におけるmRNAレベルの発現の変化をデータベース化した。そのデータベースより、正常から上皮性異形成、上皮性異形成から浸潤癌への変化に伴い有意に発現が変化する遺伝子を同定した。

(2) 教育方針

口腔外科学においては口腔、顎、顔面領域に現れる先天性および後天性疾患について、その病因、病理、症状、診断、処置ならびに予後を理解させ、かつ、各種疾患の予防および治療に応用させるように教育する。口腔外科学で取り扱う範囲は非常に広く歯科と医科との重なり合った領域を扱うため、内科学、外科学ならびに隣接臨床医学とは密接な関係を有している。口腔外科学は一般に、歯およびその周囲組織を中心とした疾患を対象とする歯科口腔外科学と、顎口腔顔面領域にわたる疾患を対象とする顎口腔外科学に区分することができ、顎顔面外科学分野は顎口腔外科学分野と分担して教育する。

1-1 第5学年前期において、次の内容について講義を行う。

顎口腔医療（内容については顎口腔外科学分野と分担して行う）

- 1) 顎口腔顔面領域の奇形、特に唇顎口蓋裂
- 2) 顎口腔顔面領域の変形症
- 3) 顎口腔顔面領域の損傷
- 4) 顎口腔顔面領域の炎症・感染症
- 5) 顎口腔顔面領域の嚢胞
- 6) 口腔粘膜疾患
- 7) 顎口腔顔面領域の良性、悪性腫瘍
- 8) 顎関節疾患
- 9) 唾液腺疾患
- 10) 系統的骨疾患
- 11) その他

以上の疾患の成因、症状、診断、処置および予後について講義を行う。

1-2 第5学年前期に次の内容について実習を行う。

1) 臨床検査とその評価

- (1) 一般簡易検査（血液型、赤血球数、白血球数、血色素量、血球容積、血球沈降速度、血液像、尿検査）
- (2) 血液検査手技（静脈採血、動脈採血）
- (3) 血清生化学検査、尿生化学検査（付、薬剤アレルギー検査、皮内反応）
- (4) 顎部の診察

2) 滅菌および消毒法

手指の消毒、手術野の消毒、器械・器具の消毒など

3) 抜歯の基本手技

抜歯鉗子・挺子の使い方

4) 顎間固定法

連続歯牙結紮など

1-3 第6学年臨床実習

外来実習では抜歯およびその他外来小手術の基本手技、投薬など、病棟実習では入院患者に対する手術を理解し、術前・術後管理の基本などを修得する。

1-4 歯学部第6学年の特別講義を行っている。

1-5 医学部医学科第3学年および歯学部歯学科第3学年の頭頸部臨床ブロックの講義を担当している。

1-6 医学部医学科第4学年、口腔外科の講義、医学部医学科第5学年、口腔外科実習を担当している。

1-7 医学部保健衛生看護学科の講義を担当している。

1-8 医歯学総合研究科医歯科学専攻修士課程の講義を担当している。

(3) 臨床活動および学外活動

2014年の外来新患者数は6480名、入院患者数719名、入院手術件数489件である。

(4) 臨床上の特色

臨床上の特色:近年の口腔外科疾患に対する治療法の進歩により最新かつ専門化した集学的治療体系が必要とされてきている。これに対応して当科では顎変形症、口腔悪性腫瘍、唇顎口蓋裂、顎関節、口腔粘膜疾患に対して専門外来を設け個々の患者へのきめ細かい対応ができる態勢を整えている。同時に集学的治療の実践のため、顎変形症や唇顎口蓋裂では症例検討会を矯正歯科外来と合同で行っており、口腔外科医と矯正歯科医が十分な検討を行った上で治療計画を立てている。また、悪性腫瘍に限らず病態が複雑な疾患や稀少な疾患を対象に口腔病理科、歯科放射線科と合同で臨床病理カンファレンス（CPC）を行い、症例について総合的に検討することにより、診断、治療に関わる知識を深め臨床に役立てている。さらには近年、心身医学的要素を持ち合わせた口腔疾患患者の増加を鑑み、精神神経科医と合同で診療にあたるリエゾン外来を開設しており成果を上げている。

(5) 研究業績

[原著]

1. Tomomatsu N, Uzawa N, Aragaki T, Harada K. Aperture width of the osteomeatal complex as a predictor of successful treatment of odontogenic maxillary sinusitis Int J Oral Maxillofac Surg. 2014; 43(11); 1386-1390
2. Sato Y, Mishimagi T, Katsuki Y, Harada K. Maxillary distraction osteogenesis for treatment of cleft lip and palate inpatient with X-linked agammaglobulinemia J Oral Maxillofac Surg. 2014; 72(7); 1396.e1-e-7
3. Harazono Y, Yamashiro M, Yoshitake Y, Kayamori K, Izumo T, Harada K. A case of highly suspected small cell osteosarcoma in the mandible J of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine and Pathology. 2014; 27(1); 38-40
4. Harazono Y, Nakajima K, Raz A. Why anti-Bcl-2 clinical trials fail: a solution Cancer Metastasis Rev. 2014; 33(1); 285-294
5. Harazono Y, Kho DH, Balan V, Nakajima K, Zhang T, Hogan V, Raz A. Galectin-3 leads to attenuation of apoptosis through Bax heterodimerization in human thyroid carcinoma cells Oncotarget. 2014; 5(20); 9992-10001

6. Nakajima K, Kho DH, Yanagawa T, Harazono Y, Gao X, Hogan V, Raz A. Galectin-3 inhibits osteoblast differentiation through notch signaling Neoplasia. 2014; 16(11); 939-949
7. Hayashi Y, Takeno H, Chinen T, Muguruma K, Okuyama K, Taguchi A, Takayama K, Yakushiji F, Miura M, Usui T, Hayashi Y. Development of a new benzophenone-diketopiperazine-type potent antimicrotubule agent possessing a 2-pyridine structure ACS Med Chem Lett . 2014; 5(10); 1094-1098
8. Yanamoto S, Yamada S, Takahashi H, Naruse T, Matsushita Y, Ikeda H, Shiraishi T, Seki S, Fujita S, Ikeda T, Asahina I, Umeda M. Expression of the cancer stem cell markers CD44v6 and ABCG2 in tongue cancer: Effect of neoadjuvant chemotherapy on local recurrence International Journal of Oncology. 2014; 44(4); 1153-1162
9. Aragaki T, Michi Y, Nakamura S, Toriihara A, Kayamori K, Harada K, Kurabayashi T. A case of Squamous Cell Carcinoma with Scattered Metastases Open Journal of Radiology. 2014; 4(3); 270-274
10. Kokai S, Fukuyama E, Sato Y, Hsu J-C, Takahashi Y, Harada K, Ono T. Comprehensive treatment approach for bilateral cleft lip and palate on an adult with premaxillary osteotomy, tooth autotransplantation, and 2-jaw surgery American J of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics. 2014; 147(1); 114-126
11. Yamada T, Yamashiro M, Kawamata A, Katsuki Y, Uezono-Honda A, Kayamori K, Harada K. Transparotid excision of rhabdomyosarcoma in masseter muscle: A case report J of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine and Pathology. 2014; 27(1); 45-48
12. 大久保孝一郎、中久木康一、東雅啓、淵田慎也、門井謙典、槻木恵一、藤田茉衣子、横山三菜、木本茂成. 大規模災害時における小児への歯科保健医療支援体制構築に関する研究 小児歯科学雑誌. 2014; 52(4); 518-830
13. 和気裕之、小見山道. 顎関節症診療における歯科医師と精神科医の連携 日本顎関節学会雑誌. 2014; 26(3); 183-190
14. 澁谷智明、和気裕之、玉置勝司. 咬合違和感を訴える患者の実態に関する多施設実態調査 日本顎関節学会雑誌. 2014; 26(3); 196-203
15. 岡村武志、黒原一人、佐藤豊、儀武啓幸、中久木康一、細木美佐、友松伸允、小杉真智子、原田清. 東京医科歯科大学歯学部附属病院顎顔面外科における過去 5 年間の顎変形症患者に対する自己血輸血の検討 日本顎変形症学会雑誌. 2014.01; 24(1); 53-62
16. 黒原一人、新井直也、中久木康一、友松伸允、岡村武志、吉増秀實、天笠光雄、原田清. 東京医科歯科大学顎顔面外科学分野における過去 12 年間の顎矯正手術症例の検討 日本顎変形症学会雑誌. 2014.01; 24(1); 63-72
17. 名生邦彦、道泰之、水谷美保、大山巖雄、鶴澤成一、原田清. 80 歳以上の超高齢者口腔扁平上皮癌症例の臨床的検討 日本口腔腫瘍学会誌. 2014.02; 26(2); 45-52
18. 山田慎一、柳本惣市、高橋英哲、松下祐樹、鳴瀬智史、白石剛士、池田久住、藤田修一、池田通、朝比奈泉、梅田正博. 口腔扁平上皮癌の頸部リンパ節転移における被膜外浸潤の進展度分類の検討 頭頸部癌. 2014.02; 40(2); 437-442
19. 中久木康一、木村裕、菅原諭子、有川量崇、佐藤由理. 東日本大震災後の居住環境による歯と口の健康への影響に関する調査報告 Bulletin of Social Medicine. 2014.02; 31(2); 31-40
20. 友松伸允、町田奈美、中久木康一、佐藤豊、山城正司、原田清. 口腔症状を主訴に来院した筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の 1 例 日本口腔外科学会雑誌. 2014.03; 60(3); 142-146
21. 中久木康一、黒原一人、有川量崇、原田清. 両側下顎枝矢状分割術におけるハイドロキシアパタイト含有ポリ-L-乳酸製骨接合材料の生体力学的荷重評価 日本顎変形症学会雑誌. 2014.03; 24(3); 211-217
22. 松下祐樹、中久木康一、小杉真智子、儀武啓幸、黒原一人、原田清. 上下顎移動術における下顎近位骨片復位法の違いによる下顎頭の位置再現性の評価 日本顎変形症学会雑誌. 2014.03; 24(3); 203-210
23. 望月美江、小林明子、山城正司、山口聡、原田清. 前腕皮弁による再建舌および舌部分切除後の舌の知覚に関する検討 日本口腔腫瘍学会誌. 2014.03; 26(3); 95-102
24. 中久木康一. 災害時の歯科保健医療救護における栄養士との連携に向けた検討 災害食学会誌. 2014.03; 1(1); 49-52

25. 鳴瀬智史、山田慎一、柳本惣市、川北晃子、松下祐樹、梅田正博. Lemierre 症候群の病態を呈し治療に難渋した重症菌性感染症の 1 例 日本口腔外科学会雑誌. 2014.04; 60(4); 234-239
26. 山田慎一、柳本惣市、鳴瀬智史、松下祐樹、高橋英哲、白石剛士、池田久住、朝比奈泉、梅田正博. 当科における再発・進行口腔癌に対するセツキシマブ療法の治療経験—特に重篤な有害事象を認めた症例の検討—日本口腔腫瘍学会誌. 2014.04; 26(4); 177-186
27. 遠藤寛則、長谷川和樹、宮本日出雄. 歯槽骨萎縮症例に対しサンドイッチグラフト法により下顎臼歯部の骨造成を行った 1 例 日本口腔外科学会雑誌. 2014.05; 60(5); 277-281
28. 奥山紘平、山口聰、黒原一人、熊谷順也、中久木康一、原田清. 分類不能型免疫不全症患者に対して観血的歯科治療を施行した 1 例 日本口腔外科学会雑誌. 2014.07; 60(7); 436-440

[書籍等出版物]

1. 原田清. 日本口腔外科学会創立 80 周年記念誌：東京医科歯科大学歯学部口腔外科の歩み. 2014
2. 寺内正彦. バイオマテリアル：学会印象記日本歯科補綴学会第 123 回学術大会. 2014
3. 天笠光雄. ヘルスアンドライフ：口腔扁平苔癬. 2014
4. 天笠光雄、渡部隆夫. 医学のあゆみ特別号：薬物関連顎骨壊死. 2014
5. 松下祐樹. ザ・クインテッセンス：The 21st International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery. 世界の口腔外科のトピックス. 2014
6. 和気裕之、澁谷智明、中久木康一、和気創、原田清. ザ・クインテッセンス舌の痛みはどう対処する？ ファミリーデンティストの初期対応完全ガイド. 2014
7. 和気裕之・佐藤文明. デンタルダイヤモンド：その症状、TCH が原因では？ . 2014
8. 和気裕之. 顎関節症の運動療法ハンドブック. 2014
9. 宮岡等、和気裕之. 歯界展望：臨床医による顎関節症への対応を考える. 2014
10. 島田淳、和気裕之. ザ・クインテッセンス別冊 TMD YEAR BOOK2014：TMD 患者への一般的な医療面接. 2014
11. 澁谷智明、和気裕之. ザ・クインテッセンス別冊 TMD YEAR BOOK2014：TMD(周辺群) 患者への一般的な医療面接. 2014
12. 澁谷智明、和気裕之. デンタルダイヤモンド：具体的な TCH の是正法. 2014
13. 澁谷智明、和気裕之. デンタルダイヤモンド：TCH の是正法用いたケース②、咬合違和感を訴える患者. 2014
14. 原田清. 別冊ザ・クインテッセンス口腔外科ハンドマニュアル：私の目指す口腔外科. 2014
15. 原田清. 臨床雑誌内科増大号：内科医に求められる他科の知識 - 歯科口腔外科領域この 10 年の進歩. 2014
16. 和気裕之. 読売新聞：口の開閉時に顎がガクガク、くらし健康. からだの質問箱. 2014.03
17. 和気裕之. 朝日新聞：根を詰めずに、口に脱力を. 不調を招く「歯の接触癖」にご注意. 元気のひけつ. 2014.10

[講演・口頭発表等]

1. 佐藤徹、山城正司、八木原一博、林 孝文、芝原孝彦、丸山 智、出雲俊之. 口腔表在癌の臨床診断. 第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2014.01.23
2. 道川千絵子、鶴澤成一、炭野淳、守谷友二郎、森田琢磨、出雲俊之、山口朗、原田清. 被膜外浸潤の病態に関する検討. 第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2014.01.23
3. 鈴木美保、道泰之、香月佑子、三浦千佳、大山巖雄、鶴澤成一、川俣綾、山城正司、出雲俊之、原田清. 当科における顎口腔悪性腫瘍の治療成績に関する検討. 第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2014.01.23
4. 炭野淳、鶴澤成一、名生邦彦、水谷美保、大山巖雄、道泰之、山城正司、原田清. 触診で発見困難な口腔癌後発顎部リンパ節転移の検討. 第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2014.01.23

5. 道泰之、水谷美保、三浦千佳、川俣綾、園田格、山城正司、原田清、出雲俊之. 口腔表在癌の治療. 第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2014.01.23
6. 奥山紘平、道泰之、水谷美保、名生邦彦、山城正司、原田清. 下顎辺縁切除術後の下顎骨骨折因子に関する臨床的検討. 第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2014.01.23
7. 大山巖雄、鶴澤成一、道泰之、鈴木美保、名生邦彦、儀武啓幸、佐藤豊、炭野淳、三浦千佳、長谷川和樹、山城正司、原田清. 下顎頭を含めた下顎骨切除に対する再建法の検討. 第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2014.01.23
8. 森田琢磨、鶴澤成一、炭野淳、鈴木美保、名生邦彦、大山巖雄、道泰之、山城正司、出雲俊之、原田清. 当科における 30 歳未満の舌扁平上皮癌症例の臨床的検討. 第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2014.01.24
9. 望月美江、小林明子、青柳順也、原田清. 歯内療法に伴い下歯槽神経支配領域に感覚異常が生じた患者に関する検討. 第 18 回口腔顔面神経機能学会学術大会 2014.03.01
10. 佐藤文明. 上顎臼歯部におけるショートインプラント 4 年経過例. 日本インプラント臨床研究会 40 周年記念大会 2014.04.19
11. Hiroyuki Yoshitake. Development of the new type mouth opening exercise device. Annual meeting of American Society of Temporomandibular joint Surgeons 2014.04.29
12. 儀武啓幸、原田清. 新しい開口度測定器の開発. 第 68 回日本口腔科学会学術集会 2014.05.07
13. 儀武啓幸、原田清. 新しい開口訓練器の開発. 第 68 回日本口腔科学会学術集会 2014.05.07
14. 道泰之、水谷美保、三浦千佳、川俣綾、園田格、鶴澤成一、山城正司、原田清、出雲俊之. 口腔表在癌の治療に関する臨床的検討. 第 68 回日本口腔科学会学術集会 2014.05.07
15. 松下祐樹、森ひとみ、柳本惣市、高橋英哲、鳴瀬智史、山田慎一、池田久住、白石剛士、南川勉、渋谷恭之、古森孝英、朝比奈泉、梅田正博. 下顎歯肉癌における骨浸潤と予後との関連. 第 68 回日本口腔科学会学術集会 2014.05.07
16. 天笠光雄、渡部隆夫、柚木泰広、角田宗弘、長澤宏和、大山巖雄. Oral potentially malignant disorders. 第 68 回日本口腔科学会学術集会 2014.05.08
17. 森田琢磨、儀武啓幸、黒原一人、鶴澤成一、原田清. 血管型 Ehlers-Danlos 症候群患者に生じた習慣性顎関節脱臼の 1 例. 第 68 回日本口腔科学会学術集会 2014.05.09
18. 高橋謙一郎、鶴澤成一、大山巖雄、炭野淳、勝村早恵、柏森高、原田清. 下顎骨に発生し急速に進行した未分化癌の一例. 第 68 回日本口腔科学会学術集会 2014.05.09
19. Hiroyuki Yoshitake. Development of the new type mouth opening exercise device. Annual meeting of Japanese Society of Temporomandibular joint Surgeons 2014.05.10
20. 佐藤豊、壬生美千子、長岡亮介、三島木節、香月佑子、大上えりか、町田章彦、山田峻也、谷口尚、吉増秀實、原田清. 片側性唇顎口蓋裂における口蓋形成術後の言語成績. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2014.05.29
21. 三島木節、香月佑子、佐藤豊、阿部成宏、村嶋真由子、山田峻也、町田章彦、上丸英、吉増秀實、原田清. 片側唇顎口蓋裂患者の乳歯列期咬合関係に与える因子の検討. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2014.05.29
22. 長岡亮介、鳥飼勝行、三沢尚弘、木島毅、府川俊彦. 成人期以降に当科初診となった口唇口蓋裂修正術の問題点と治療法. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2014.05.29
23. 香月佑子、三島木節、佐藤豊、町田章彦、山田峻也、吉増秀實、原田清. 片側完全唇顎口蓋裂患児における術前顎発育誘導の目標設定に関する検討. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2014.05.30
24. 中久木康一、木村裕. 東日本大震災から 3 年間の女川町における歯科保健医療活. 第 63 回日本口腔衛生学会・総会 2014.05.30
25. 東雅啓、中久木康一、大久保孝一郎、門井謙典、槻木恵一. 大規模災害時の歯科保健医療に対する歯学部学生の意識調査. 第 63 回日本口腔衛生学会・総会 2014.05.30
26. 中久木康一. 大規模災害時における歯科保健医療活動を公衆衛生的手法でコーディネートする！一避難所等歯科口腔保健アセスメント票標準化の提言一. 第 63 回日本口腔衛生学会・総会 2014.05.30

27. 門井謙典、中久木康一、東雅啓、大久保孝一郎、槻木恵一. 大規模災害に対する高齢者施設の歯科口腔保健医療体制に関する現状調査. 第 63 回日本口腔衛生学会・総会 2014.05.30
28. 大久保孝一郎、中久木康一、東雅啓、門井謙典、槻木恵一. 全国大学歯学部小児歯科学講座の東日本大震災への対応に関する調査. 第 63 回日本口腔衛生学会・総会 2014.05.30
29. 槻木恵一、中久木康一、東雅啓、門井謙典、大久保孝一郎. 横須賀・三浦地域の歯科医療施設の減災対策についての現状調査. 第 63 回日本口腔衛生学会・総会 2014.05.30
30. Yoshio Ohyama, Narikazu Uzawa, Yasuyuki Michi, Miho Suzuki, Masashi Yamashiro, Tomoyuki Yano, Kazuki Hasegawa, Kiyoshi Harada. Vascularized composite free flaps for mandibular defects. 64th Congress of the German Association of Oral and Maxillofacial Surgeons 2014.06
31. 橋田之彦、水谷美保、川俣綾、斎藤健一、山城正司、原田清. 両側顎下腺唾石症の 3 例. 第 197 回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2014.06.07
32. 炭野淳、佐藤豊、稲葉好則、鶴澤成一、原田清. 智歯の抜去を行った Gitelman 症候群の 1 例. 第 197 回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2014.06.07
33. 稲葉好則、道泰之、水谷美穂、道川千絵子、大上えりか、金丸智紀、鶴澤成一、原田清. 口腔内に生じた紡錘細胞癌の 2 症例. 第 197 回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2014.06.07
34. 友松伸允、黒原一人、中久木康一、儀武啓幸、園田格、細木美佐、原田清. 下行口蓋動脈周囲の骨量と上顎後方挙上の正確度との相関性について. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2014.06.10
35. 松下祐樹、中久木康一、小杉真智子、友松伸允、細木美佐、柚木泰広、園田格、儀武啓幸、黒原一人、原田清. 下顎枝矢状分割術における口内法によるスクリュウ固定とプレート固定の術後安定性の比較. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2014.06.10
36. 中久木康一、小杉真智子、黒原一人、細木美佐、友松伸允、原田清. 下顎枝矢状分割術におけるチタンミニプレート破折要因の検討. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2014.06.10
37. 園田格、儀武啓幸、黒原一人、中久木康一、細木美佐、友松伸允、原田清. LeFortI 型骨切り術後の抜釘症例に関する検討. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2014.06.10
38. 吉田千紘、佐藤豊、阿部成宏、山口聡、三島木節、香月佑子、山田峻之、村嶋真由子、吉増秀實、原田清. 当科における唇顎口蓋裂に対する外科的矯正治療. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2014.06.11
39. 小海暁、福山英治、佐藤豊、許瑞瑛、高橋雄三、原田清、小野卓史. 中間間顎骨切り、歯の移植、上下顎移動術を併用した治療により長期安定が得られた成人唇顎口蓋裂の 1 例. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2014.06.11
40. 宮嶋大輔、石井純一、八木原一博、桂野美貴、住本和歌子、柳下寿郎、石川文隆. 造血幹細胞移植後に生じた舌癌の 1 例. 第 38 回日本頭頸部癌学会 2014.06.12
41. 鶴澤成一、高橋謙一郎、炭野淳、守谷友二郎、森田琢磨、道川千絵子、原田清. 口腔癌多段階発癌過程における遺伝子発現データベースの構築. 第 38 回日本頭頸部癌学会 2014.06.13
42. 星礼子、鶴澤成一、道泰之、水谷美保、大山徹雄、炭野淳、名生邦彦、原田清. 口腔癌後発頸部リンパ節転移被膜外浸潤陽性例に関する検討. 第 38 回日本頭頸部癌学会 2014.06.13
43. 和気裕之. 口腔領域の痛みと違和感 vs 歯科心身症・精神疾患—臨床医の対応—. 第 32 回日本顎咬合学会・学術大会 2014.06.15
44. Hiroyuki Wake. Psychosomatic approach for the patient with TMDs & Psychological problems. 2014 Korean Incorporated Association for Temporomandibular Joint Spring conference & conference celebrating 2014.06.22
45. 佐藤文明、西山暁、木野孔司、戸邊昌子、木村浩子、渋谷寿久、塚越香、儀武啓幸、小林明子、和気創、大友奈津子、原田清. 中学校健診における顎関節調査法の検討とその疫学的特徴. 第 27 回日本顎関節学会総会・学術集会 2014.07.19
46. 儀武啓幸、原田清. 新型開口度測定器の開発. 第 27 回日本顎関節学会総会・学術集会 2014.07.19
47. 儀武啓幸、原田清. 下顎頭の前方滑走運動を誘導する開口訓練器の新規開発. 第 27 回日本顎関節学会総会・学術集会 2014.07.19

48. 儀武啓幸. 顎関節痛に対する薬物療法. 第 27 回日本顎関節学会総会・学術集会シンポジウム 2014.07.20
49. 中久木康一、和気裕之、宮地英雄、小杉真智子、仲井太心、六島聡一、原田清、宮岡等. 精神科リエゾンコンサルテーション歯科外来にて診察した舌痛症の検討. 第 29 回日本歯科心身医学会学術大会 2014.07.26
50. 小倉京子、和気裕之、西村均、小見山道、齊藤孝親. 痛み外来を継続的に受診している患者の VAS の検討. 第 29 回日本歯科心身医学会・学術大会 2014.07.26
51. 小見山道、西村均、小倉京子、齊藤親、和気裕之. 日本大学松戸歯学部附属病院「口・顔・頭の痛み外来」における舌痛症患者の治療について. 第 29 回日本歯科心身医学会・学術大会 2014.07.26
52. 岡安一郎、達聖月、鮎瀬卓郎、和気裕之. 狭義心身症モデルである顎関節症（中核群）の一例. 第 29 回日本歯科心身医学会・学術大会 2014.07.26
53. 和気裕之. 歯学部・歯科大学における心身医学教育の現状と今後—卒前教育と卒後教育のあり方—、神奈川歯科大学の卒前・卒後教育から今後の心身医学教育を考える. 第 29 回日本歯科心身医学会・学術大会シンポジウム 2014.07.26
54. 名生邦彦、道泰之、大山巖雄、鶴澤成一、原田清. 80 歳以上の超高齢者口腔扁平上皮癌症例の臨床的検討. 第 14 回関東地区口腔腫瘍研究会 2014.07.27
55. 中久木康一、田中彰、大黒英貴、村岡宜明、柳川忠廣. 日本歯科医師会災害コーディネーター研修会（災害歯科保健医療）のあり方. 第 13 回警察歯科医会全国大会 2014.08.24
56. 鶴澤成一、高橋謙一郎、茂柳薫、森田琢磨、守谷友二郎、田中博、原田清. 口腔癌における腫瘍内 heterogeneity の頸部リンパ節転移巣への影響. 第 52 回日本癌治療学会学術集会 2014.08.28
57. Yoshimasu H, Sato Y, Matsuda Y, Ohsato A, Mishimagi T, Katsuki Y, Harada K. Comprehensive treatment and oral health care for patients with cleft lip and palate. ICPF Workshop Cleft 2014 2014.09
58. Okuyama K, Michi Y, Yamashiro M, Harada K. Clinical study on mandibular bone fracture after marginal resection of the mandible. American Association of Oral and Maxillofacial Surgeons. 96th Annual Meeting, Scientific Sessions and Exhibition in Conjunction with the Japanese Society and Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons 2014.09
59. 中久木康一、河瀬聡一郎、木村裕、菅原佳奈子、今野恵美子、横田三夏、佐藤由理、齋藤充. 多職種における「食」をキーワードとした地域連携の試み. 第 20 回日本摂食嚥下リハ学会学術大会 2014.09.07
60. Koichi Nakakuki. Proposal for rapid dental assessment and evaluation in public health service after disaster in Japan. 第 12 回アジア太平洋災害医学会 2014.09.17
61. 前田慶子、鈴木鉄夫、廣田由佳、原田清. 口腔扁平苔癬の臨床統計学的検討. 第 24 回口腔内科学会・第 27 回口腔診断学会合同学術大会 2014.09.19
62. 中村亮介、原田清、山口朗. 口腔癌の顎骨浸潤における TGF β シグナルの役割. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会 2014.09.25
63. 近藤雄太、大野建州、張晨陽、八木田秀雄、原田清、東みゆき. Anti-tumor effects of mAb against a new immune-checkpoint molecule VISTA. 第 73 回日本癌学会 2014.09.27
64. Yoshio Ohya. Vascularized composite free flap for mandibular defect. The 59th Congress of the Japanese Society of Oral & Maxillofacial Surgeons 2014.10
65. 中澤大輝、林良樹、嶽野遙、知念拓実、奥山紘平、田口晃弘、高山健太郎、薬師寺文華、三浦雅彦、白井健郎、林良雄. ヘテロ環を有するジケトピペラジン型チューブリン重合阻害剤の構造活性相関研究. 第 58 回日本薬学会関東支部大会 2014.10.04
66. 天笠光雄. 口腔潜在性悪性疾患（Oral potentially malignant disorders）について. 第 57 回日本口腔科学会中部地方会 2014.10.11
67. 橋田之彦、水谷美保、川俣綾、斎藤健一、山城正司. 両側顎下腺唾石症の 3 例. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.17
68. 儀武啓幸、原田清. 新型開口度測定器の開発. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.17

69. 鶴澤成一、道川千絵子、炭野淳、森田琢磨、高橋謙一郎、道泰之、大山巖雄、名生邦彦、原田清. 口腔癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤の新たな分類に関する検討. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.17
70. 儀武啓幸、原田清. 下顎頭の前方滑走運動を誘導する開口訓練器の開発（第 2 報）. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.17
71. 中久木康一、小杉真智子、黒原一人、儀武啓幸、園田格、細木美佐、友松伸允、原田清. HA 含有ポリ-L-乳酸製メッシュによる固定を行った上下顎骨骨切り術術後の安定性. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.17
72. 大山巖雄、鶴澤成一、道泰之、水谷美保、山城正司、長谷川和樹、立川敬子、原田清. 当科における下顎欠損に対する血管柄付き硬組織再建. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.18
73. 三浦千佳・道泰之・水谷美保・栢森高・出雲俊之・原田清. 多発性角化嚢胞性歯原性腫瘍と粘膜原発類基底扁平上皮癌が併存した Gorlin 症候群の 1 例. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.18
74. 天笠光雄、佐藤仁、津川順一、前田慶子、炭田淳、原田清、渡部隆夫、柚木泰広、長澤宏和、山城正司. 舌癌モデルの作製と有用性. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.18
75. 松下祐樹、柳本惣市、山田慎一、山下健太郎、市川陽子、藤田修一、池田通、梅田正博. 下顎に発生した顎骨中心性紡錘細胞癌の 1 例. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.18
76. 水谷美保、橋田之彦、川俣 綾、斎藤健一、山城正司. 当科における顎骨骨髓炎の臨床的検討. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014.10.19
77. 道泰之. 口腔領域の希少がんに対する診断と治療. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会シンポジウム 2014.10.19
78. 原田清. はじめよう！馬蹄形骨切り併用 Le Fort I 型骨切り術. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会ビデオレクチャー 2014.10.19
79. 森谷俊樹、北原稔、中久木康一、中條和子、安福美昭. 「避難所等歯科口腔保健標準アセスメント票」の作成および活用について. 第 73 回日本公衆衛生学会総会 2014.11.07
80. 北原稔、森谷俊樹、中久木康一、中條和子、安福美昭. 大規模災害時での歯科口腔保健標準アセスメントを活用した対応体制構築にむけて. 第 73 回日本公衆衛生学会総会 2014.11.07
81. 中久木康一. 歯科保健医療における災害時体制の教育・研修のありかたの検討. 第 73 回日本公衆衛生学会総会 2014.11.07
82. 長岡亮介、鳥飼勝行、木島毅、三沢尚弘、清水宏昭、長西裕樹、錦織なづ、安村和則. 口蓋粘膜 pull forward 法を応用した口唇口蓋裂 2 次修正例. 第 21 回横浜形成外科フォーラム 2014.11.15
83. 吉田千紘、山口聰、阿部成宏. 下顎骨骨片より採取したヒト骨髄間質細胞の性質. 第 51 回日本口腔組織培養学会 2014.11.15
84. 近藤雄太、大野建州、張晨陽、八木田秀雄、原田清、東みゆき. Anti-tumor effects of mAb against a new immune-checkpoint molecule VISTA/PD-1H. 第 43 回日本免疫学会 2014.12
85. 横溝一郎、井口寛弘、戸原玄、吉田奈美子、小林誉子、斎藤文香、吉田直人、中久木康一、道泰之、原田清、横井秋夫、小野正博、星作男、鈴木紘一. 有隣病院の入院患者における摂食嚥下評価及び訓練の取り組み. 第 14 回世田谷区医師会医学会 2014.12.06
86. 外内えり奈、道泰之、大山巖雄、水谷美保、廣田由佳、出雲俊之、栢森高、原田清. 舌癌一次治療後 8 年で頸部にリンパ節転移をきたした 1 症例. 第 198 回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2014.12.06
87. 天笠光雄、佐藤仁、津川順一、前田慶子、道泰之、原田清、渡部隆夫、柚木泰広、長澤宏和、山城正司. 舌癌モデルの試作とその応用. 第 78 回口腔病学会学術大会 2014.12.06
88. 前田慶子、鶴澤成一、耕作明美、岸恵理子、長尾梓、花房秀次、山口聰、原田清. von Willebrand 病姉妹患者の下顎埋伏智歯抜歯. 第 198 回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2014.12.06
89. 山田知里、戒田篤志、原田清、三浦雅彦. Fucci 発現シスプラチン体制 HeLa 細胞株の樹立とその細胞動態. 第 79 回口腔病学会学術大会 2014.12.06

[特許]

1. 骨形成因子安定保持剤、骨形成因子活性化剤、骨形成因子の安定保持方法、及び骨形成因子の活性化方法（寺内正彦）、出願番号：特願 2014-224265
2. 開口度測定器に関して（儀武啓幸）

[受賞]

1. 下顎辺縁切除術後の下顎骨骨折因子に関する臨床的検討、第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 優秀ポスター賞（奥山紘平）

[その他業績]

1. 岡山大学歯学部同窓会, 2014 年 02 月
歯科医院で注意すべき内科的疾患および薬剤（佐藤豊）
2. The 8th Bone Research Seminar, 2014 年 02 月
CCN3 participates in bone regeneration as an inhibitory factor（松下祐樹）
3. 神奈川県歯科医師会 歯科医療の質向上・安全セミナー 2014, 2014 年 03 月
歯科における出血のトラブルとその対応（原田清）
4. 鶴見歯科医師会特別講演会, 2014 年 03 月
口腔粘膜疾患の診断と治療（天笠光雄）
5. 東京医科歯科大学同窓会, 2014 年 04 月
手際の良い抜歯、投薬について（佐藤豊）
6. 社会保険審査委員会特別講演会, 2014 年 04 月
歯科・口腔外科最前線（天笠光雄）
7. 広島大学歯学部特別講義, 2014 年 06 月
顎変形症の診断と手術方針の考え方（原田清）
8. 東京都歯科医師会, 2014 年 07 月
口腔外科外来手術—ノウハウと偶発症予防、投薬の実際（佐藤豊）
9. 第 27 回日本顎関節学会・学術大会、イブニングセミナー座長, 2014 年 07 月
一般臨床医が治す顎関節症—問診・診察・検査・鑑別診断・治療—（和気裕之）
10. 藤沢市市民公開講座, 2014 年 08 月
口腔がん：早期診断と予防のために（天笠光雄）
11. S.O.R.G. Far East, Expert Meeting, 2014 年 09 月
Horseshoe Le Fort I osteotomy（原田清）
12. 第 22 回前中・前高京浜同窓会フォーラム, 2014 年 09 月
あなたの歯が、あなたの口内炎が危ないとき（天笠光雄）
13. 第 7 回国際歯科大会, 2014 年 10 月
患者さんの将来の顎関節症を防ごう！ 超入門 TCH 指導（佐藤文明）
14. 日本線維筋痛症学会・第 5 回学術大会、教育講演座長, 2014 年 10 月
口腔領域の痛みにどう対応するか（和気裕之）
15. 学際企画（福岡）, 2014 年 11 月
歯科でよく使う鎮痛薬と抗菌薬の安心・安全な投薬～有病者・高齢者・妊婦・小児患者への実践的な処方～（佐藤豊）
16. 学際企画（東京）, 2014 年 11 月
歯科でよく使う鎮痛薬と抗菌薬の安心・安全な投薬～有病者・高齢者・妊婦・小児患者への実践的な処方～（佐藤豊）
17. 第 19 回日本口腔顔面痛学会座長, 2014 年 11 月
OFP に必要な精神科の知識（和気裕之）

18. 学際企画（大阪），2014 年 12 月
歯科でよく使う鎮痛薬と抗菌薬の安心・安全な投薬～有病者・高齢者・妊婦・小児患者への実践的な処方～
（佐藤豊）